

報道関係者各位

2020年10月7日
株式会社メディカルネット

メディカルネット、岡山大学と口臭センサーを開発し、特許を取得

－ 歯科医療における IT を活用した新たな研究を進める －

歯科医療領域でプラットフォームビジネスを展開する株式会社メディカルネット（代表取締役会長 CEO：平川 大 以下、「メディカルネット」）は、国立大学法人岡山大学松本卓也教授（以下、「岡山大学」）との共同研究により開発いたしました「歯科医院での新しい口臭センサーシステム」について、特許を取得したことをお知らせいたします。

■特許の概要

- 【特許番号】特許第 6765043 号
- 【発明の名称】局所臭気探索装置及び局所臭気の探索方法
- 【特許権者】株式会社メディカルネット
国立大学法人 岡山大学
- 【特許出願日】令和 2 年 1 月 30 日
- 【特許登録日】令和 2 年 9 月 17 日
- 【出願番号】特願 2020-013243



さまざまな疾患のリスクファクターをもつ歯周病を未然に防ぐ

この口臭センサーシステムは、「検査から診断・治療」までトータルでサポートする仕組みを作っています。1 歯ごとにセンサー先端部を近づけ、臭気レベルを測定。現在岡山大学では、口腔衛生状態、歯周病のレベルを検知、診断基準に基づきグラフ化することで将来の疾患予測も視野に入れた研究開発を進めています。



また、生活習慣の改善するきっかけを作る「未病検査」と「疾患の早期発見」を組み合わせ資本提携している株式会社ミルテルとの共同研究を通じた血液検査等との融合も想定し、新たな病気の発見と、口臭を発生しやすい個人への個別医療アプローチの実現も視野に入れております。

この口臭センサーシステムについては、2020年6月に開催された第11回日本口臭学会において、「口腔内局所臭気回収方法の最適化に関する研究」として発表されております。

イノベティブなIoT予防医療を相互メリットで貢献

近年、歯周病原細菌が口腔はもとより、気道や血管を介してさまざまな全身の疾患へつながることがわかってきました。口臭センサーシステムにより歯周病を未然に防ぐこと、また診断レベルによって、未病、その先の重い疾患を予防していくことが可能になります。

その結果、

- ① 自身の臭気レベルを知ることでセルフメディケーションの促進になる。
- ② 測定した臭気レベルにより治療が開始され、歯科医院の経営改善につながるといった、患者さんと歯科医院の相互メリットが期待できます。



【株式会社メディカルネットについて】

「インターネットを活用し 健康と生活の質を向上させることにより 笑顔を増やします。」をミッションに掲げ、インターネットを活用した医療・生活関連情報サービスを提供。特に歯科医療分野においては、生活者への歯科医療情報サービスの提供、歯科医療従事者への情報サービスの提供、歯科医療機関の経営支援事業、歯科関連企業のマーケティング支援事業など歯科医療の総合ビジネス（プラットフォームビジネス）を展開。

<会社概要>

◇本社所在地：〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-34-14 宝ビル 3階

◇代表者：代表取締役会長 CEO 平川 大

◇URL：<https://www.medical-net.com>

■報道関係者お問合せ先

株式会社メディカルネット IR担当

TEL：03-5790-5261 メール：mn-ir@medical-net.com